

削減計画実施状況報告書（内容）

事業所名	イチカワ株式会社
事業所の所在地	千葉県柏市根戸200番地
事業所の主たる業種及び事業概要	製造業（抄紙用フェルト其ノ他工業用織物ノ製造）
報告期間	平成23年度分
温室効果ガス排出量報告	◎基準年度 5,435t-CO2（H21年度） ◎当該年度 5,863t-CO2（内訳は別紙1） ◎対基準年削減量 428t-CO2（増加） ◎削減率 7.9%（増加） ◎目標年度 6,416t-CO2（H24年度）
温室効果ガス削減実施内容（増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する）	<具体的に記入する（別紙も可）> ・【H23年度実績値】 ・基準年（H21年）に対して 428 t-CO2増加しており、増加率では 7.9 %となる。 ・基準年のH21年は世界的な経済悪化の影響から生産量の大幅な減少があり、これに伴ってエネルギー使用量は減少したが、H22年以降生産量は徐々に回復してきている。さらにH21年から稼動した新工場も本格的な稼動となり、エネルギー使用量は増加傾向にある。 しかし、設備の省エネ化については計画を持って取り組んでおり、前年（H22）を144t-CO2 下回る結果となっている。 ・H23年度に実施した省エネに対する施策 1. 各設備における省エネ機器の導入 高効率空調機、LED照明、高効率ボイラ導入等 2. 設備の効率的な運用 ① 照明設備の適正化 必要最低照度での運用（照明設備の間引き等）

	② 生産設備における動力機器の運転適正化 製品幅に応じた各動力機器の調整、待機時のロス削減 【今後の削減計画】 ・計画におけるCO₂排出量の目標値は、H24年度末において1990年度比マイナス6%である 6,416 t としている。現状においてこの値を下回っているが、今後生産量の増加によるエネルギー使用量の増加が懸念され、以下の施策によりエネルギー原単位の低減を図る。 1. 省エネ型空調機への更新 2. 省エネ型照明（LED等）への更新 3. 高効率ボイラの採用 4. 高効率変圧器の採用 5. 生産設備の効率的な運用 ① 乾燥設備における製品幅に応じたファンの運転台数制御、回転数制御による電力削減 ② 乾燥設備における製品幅に応じたヒーターの運転台数制御による電力削減 ③ 生産設備における待機時の電力削減（非生産時停止） 6. 設計改善（無化学薬品化）によるエネルギー使用量削減 ・上記施策の削減目標としては、エネルギー原単位の前年度比 1% 以上としており、H24年度におけるエネルギー削減量としては、総エネルギー使用量の 1.8%に相当する 以上
--	--